

大田区立田園調布せせらぎ公園魅力アップ整備のための 区民とのワークショップ開催結果について

1 経緯

大田区立田園調布せせらぎ公園では、新おおた重点プログラムに基づき、用地取得に伴う拡張部の整備等が計画されている。また、公園内では、大田区田園調布せせらぎ館（文化施設）の開館や公園休憩所の解体、体育施設の整備など関連する工事も計画されている。

この様な状況を踏まえ、大田区緑の基本計画（グリーンプランおおた）で定めた、都市の中のみどりの機能として「環境保全」「レクリエーション」「防災」「景観形成」を有した大田区立田園調布せせらぎ公園の更なる魅力アップを図り、公園の将来像を広く共有するため、区民とのワークショップを開催した。

なお、当初、令和2年5月からの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年9月からの開催となった。開催にあたっては体温チェックやマスクの着用、換気、間隔の確保など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。

2 テーマ

- (1) 公園の整備に関すること
- (2) ゾーニングに関すること（体育施設の位置を含む）
- (3) 公園の利用に関すること（公園利用者の文化施設の利用や防災に関することを含む）

3 ワークショップの構成

推薦枠 25名、公募枠 25名 計 50名

4 ワークショップ各回の開催状況

- ・ 第一回 9月5日（土）9：30～12：30 参加者 44名（せせらぎ公園休憩所）
- ・ 第二回 10月31日（土）9：30～12：30 参加者 39名（せせらぎ公園休憩所）
- ・ 第三回 11月28日（土）9：30～12：30 参加者 35名（田園調布富士見会館）
- ・ 第四回 12月19日（土）9：30～12：30 参加者 39名（田園調布富士見会館）

延べ参加者 157名

5 ワークショップのまとめと成果

参加者が5つのグループ別の討議により、田園調布せせらぎ公園の既存エリアや、新たに公園として拡張する区域の各ゾーンにおける施設整備のあり方や現状の問題点、改善すべき点、運営のルールづくりなどを話し合った。グループワークでは主に崖線の保全、樹木地の適正な管理、湧水の保全、園路導線のバリアフリー化、現富士見会館から公園までの自然観察ができる園路整備、子供が遊べる広場の確保、体育施設の配置について意見があげられた。個々の課題や今後の施設の活用方針、方向性等について全体発表を通じ参加者全員で共有した。区はワークショップの結果等を踏まえ公園整備の内容（概要）をまとめる。

なお、当初予定していた地域報告会の開催については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら検討する。